

2009年度

科目名	演習 I		
担当教員	浅尾 広良		
配当	日文3	コード	32040
開期	通年	講時	水曜日2限
		単位数	4
授業テーマ	『源氏物語』若紫巻を読む		
目的と概要	<p>前期は順番に『源氏物語』本文の輪読を行い、物語の読みの可能性を探る。校異および注釈を丹念に検討して問題点をあらい出す。同時代の文献はもちろん、前後の資料をできる限り調査し、本文をどのように解釈し得るのかを考察する。</p> <p>後期は、前期の輪読を基礎として各自に研究発表を課す。発表は一人30分以内、質疑応答で議論を深め、推敲した原稿を後期の末にレポートとして提出してもらう。レポートは400字詰め原稿用紙10枚以上(目標15枚以上)とする。</p> <p>なお、個人指導をより効果的に行うために、オンラインを利用したの随時質問を受け付ける。</p>		
成績評価法	当該科目の成績は、前期の輪読(25%)、後期の研究発表(25%)、レポート(40%)、出席・授業への取り組み姿勢(10%)の4項目から総合的に評価する。		
テキスト	『源氏物語』古典セレクション2(若紫・末摘花・紅葉賀・花宴)／阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男／小学館		
参考書	授業時に適宜指示する。		
履修に当たっての注意・助言	マニュアル本に頼るのではなく、自分で問題意識をもち、調べ、展開し、まとめる努力をしましょう。どんなに稚拙な問題であれ、自分で問題意識をもつことが重要です。		
講義計画			
1 オリエンテーション(授業の進め方、年間の計画、評価の方法等) 2 源氏物語の諸本、古注釈に関する基礎知識 3 輪読発表のサンプル(発表者 浅尾) 4 発表者個人指導① 5 発表者個人指導② 6 発表者個人指導③ 7 発表者個人指導④ 8 発表者個人指導⑤ 9 輪読1・2 発表・質疑応答・講評 10 輪読3・4 発表・質疑応答・講評 11 輪読5・6 発表・質疑応答・講評 12 輪読7・8 発表・質疑応答・講評 13 輪読9・10 発表・質疑応答・講評 14 輪読の範囲から抽出される「若紫巻」の問題点 15 輪読前期のまとめ 16 研究発表の仕方、まとめ方ガイダンス 17 研究発表サンプル(発表者 浅尾) 18 研究発表個人指導① 19 研究発表個人指導② 20 研究発表個人指導③ 21 研究発表個人指導④ 22 研究発表個人指導⑤ 23 研究発表1(担当1、2)発表・質疑応答・講評 24 研究発表2(担当3、4)発表・質疑応答・講評 25 研究発表3(担当5、6)発表・質疑応答・講評 26 研究発表4(担当7、8)発表・質疑応答・講評 27 研究発表5(担当9、10)発表・質疑応答・講評 28 レポート提出上の注意点 29 後期研究発表のまとめ 30 演習Ⅱ履修のためのガイダンス			